

# 保健だより



横浜市立和泉小学校  
校長 平井 克明

## 2月の保健目標 授業中の安全に気をつけよう

いよいよ、寒さもインフルエンザも本格化してきました。本校では、インフルエンザA型が1月中旬から流行しています。症状としては、主に高熱が出ますが、微熱であっても病院で検査をしてみるとインフルエンザだった！ということもあります。自分のため、周りの人のためにも、かからないように予防するとともに、体調が悪いときには無理をせず自宅で休養をとったり病院にかかったりすることをおすすめします。

### ～今月の保健の予定～

○2月16日（木）第2回和泉っこさわやか会議

4、5、6年生の児童が「ケガの予防」について話し合います。

学校医さんや学校薬剤師さん、PTA保健厚生委員の方々も参加します。

○児童保健委員がかぜ・インフルエンザ予防で校内放送を実施中。

「あわあわ手あらいのうた♪」を流し、給食前の手洗いをうながしています。

近日中に、テレビ放送でも発表予定です。

### ※インフルエンザは出席停止期間があります。

「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」となっています。下記の例を参考に、出席停止期間を守っていただくようお願いいたします。病院での証明書は必要ありませんが、インフルエンザと診断されたら必ず学校までご連絡ください。



インフルエンザは、発症後5日間かつ解熱後2日間は出席停止期間です

どちらも満たしていないと出席できません。迷ったときは、医師などにご相談ください。

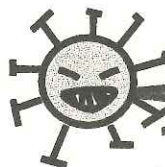
### \*学校に連絡する際には、下記の連絡シートを参考に、お子さんの状況を教えてください。

#### 欠席連絡受付シート

(必要に応じて使用してください)

年	組	男・女	
発症の状況 (発熱以外の症状)	月 日から		発熱(体温 ℃)
	咳・頭痛・咽頭痛・倦怠感・嘔吐・腹痛・下痢		
受診状況	受診した	診断名	
	受診していない		
備考	*医師からいつまで学校を休むように言われたか		










# 感染症に気をつけよう

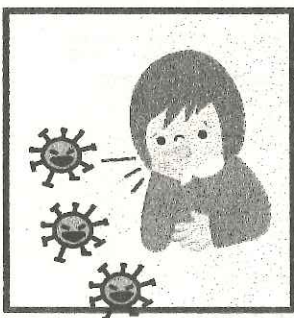
2017年【2月号】



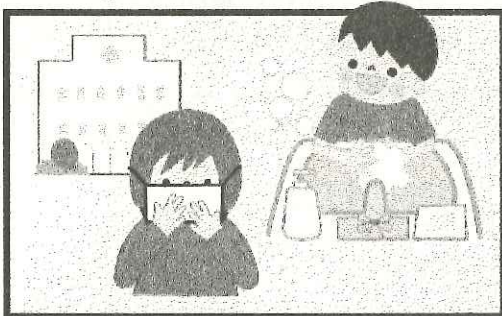
## 横浜市内の感染症 流行状況

感染症	流行状況		説明 <small>【解説付き既刊号等】</small>  <a href="#">クリック</a>
インフルエンザ	 大流行	 増加	1月下旬に警報が出ました。例年、2月ないし3月まで警報レベルの流行が続いています。【'17.1号】【Q&A】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	 やや流行	 横ばい	昨年と同様に、例年より多い状態が続いています。最も有効な予防方法は、ワクチン接種です。【'16.6号】

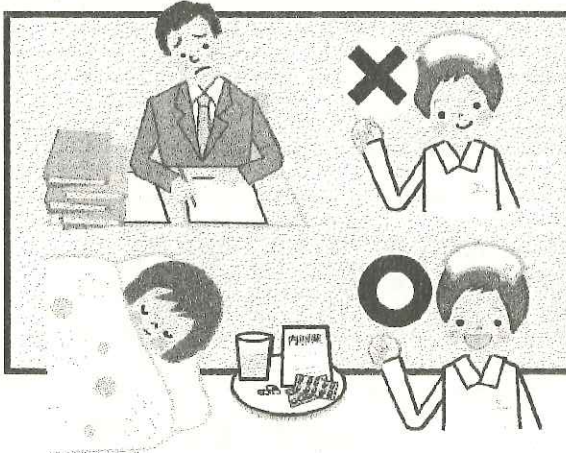
## 今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- インフルエンザウイルスは主に、咳やくしゃみの時に口から飛び散るしぶき(飛沫)によって感染します。
- また、感染しても症状が出なかったり、かぜの様な軽い症状だけで、本人も周囲もインフルエンザに感染していることに気が付かない場合もあります。



- そのため、予防には、普段から皆が咳エチケットを心がけ、正しい手洗いを習慣にしておくことが大切です。
- もし咳や熱などの症状が出てしまったら、咳エチケットを守り、早目に受診してください。



- 熱が下がっても人にうつす可能性があります。一般的には、発症後3~7日間は鼻やのどからウイルスが排出されると言われています。
- 他の人にうつさないためにも、無理をせず、学校や仕事は休みましょう。

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課  
【横浜市感染症情報センター】

